

岡地株式会社、中国商品先物取引所から日本の商品先物取引業者として初の外国取次業者許可を取得

2018年5月25日

去る2018年5月4日、中国最大の先物取引所である大連商品交易所(DCE)は、鉄鉱石先物市場国際化・海外門戸開放の第一歩として、22社の外国先物取引業者に対し取次業者としての資格を許可。香港から17社、シンガポールから4社が許可を受ける中、日本から唯一、岡地株式会社が許可を受けることになった。

<http://www.dce.com.cn/dalianshangpin/gywm7/jyshy/jwjigmd/index.html>



同所の鉄鉱石先物市場は2013年に上場され、中国の鋼鉄需要の増加に伴い急成長している。現在一日の出来高は平均100万枚を超え、取組高は約200万枚(2億トン相当)に達している。中国の商品先物市場において、石炭先物、コークス先物と並び、中国の商品先物市場では最も流動性の高い市場として注目されている。

中国期貨業協会によれば、2018年4月度の中国商品先物市場の総売買高は約2億5千万枚、その内訳は大連交易所1億133万枚、上海交易所1億20万枚、鄭州交易所4600万枚、金融期貨交易所188万枚、上海国際エネルギー交易所62万枚となっている。大連交易所の4月度の月間売買高のうち、鉄鉱石市場は3337万枚と最大であり、第二位の大豆粕市場の2758万枚を大きく上回っている。

以上